



とび出す食草園のチョウ アゲハチョウ科

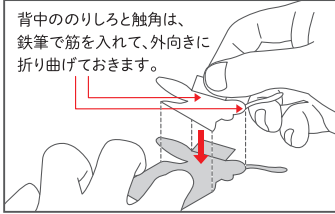
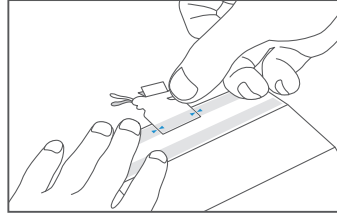
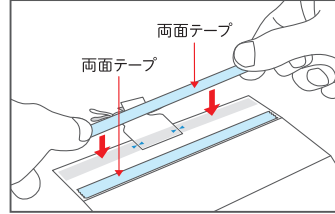
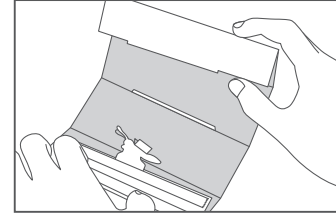
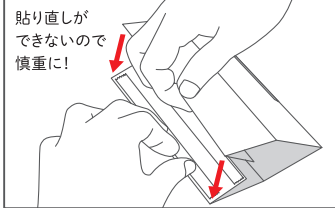
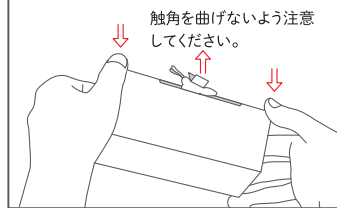
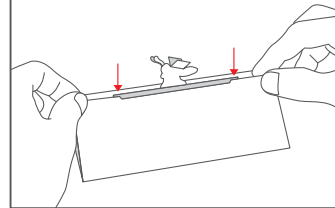
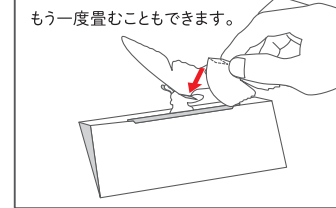
チョウの成虫がさまざまな花の蜜を吸うのに対して、チョウの幼虫は種類によって決まった種類の葉(食草)しか食べません。植物はさまざまな化学物質をつくって虫から身を守っているの、それを解毒できる幼虫だけが食事にありつけるのです。JT生命誌研究館の食草園によく訪れるチョウとその幼虫と食草の関わりを卓上カレンダーでご紹介します。よく見かけるあのチョウの幼虫は何を食べているのかな? 近所で見かけた植物はチョウの食草だったんだ! 身近な虫や草花を注意深く観察すると新しい何かが見つかるかもしれません。



組み立てに必要な道具

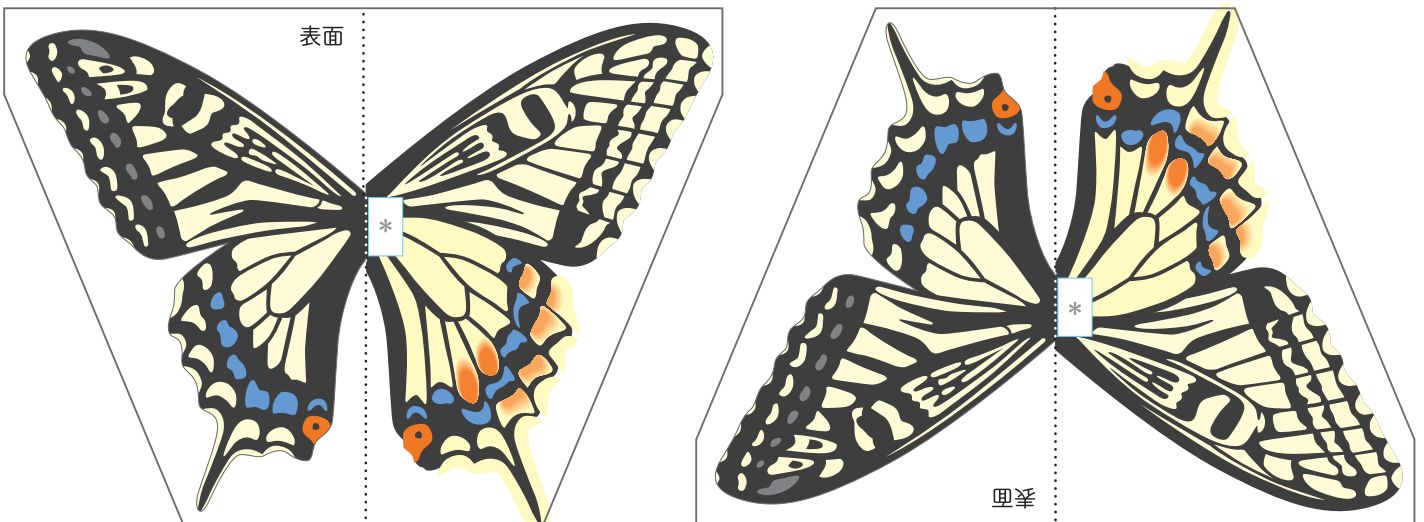
- カッターナイフ/はさみ
 - カッティングマット
 - ものさし
 - 鉄筆やインクの切れたボールペンなど、先のとがったもの
 - 両面テープ(10ミリ幅がおすすめ)
 - 木工用接着剤
 - つまようじ
- (接着剤を塗るへらとして使います)

5つのパーツをていねいに切り抜き、説明図にしたがって組み立ててください。




<p>4 体をぴったり揃えて貼り合わせます。背中の中ののりしろと触角はのりづけしません。</p>  <p>背中の中ののりしろと触角は、鉄筆で筋を入れて、外向きに折り曲げておきます。</p>	<p>5 台座を開き、体の矢印とぴったり向き合わせてのりづけします。</p> 	<p>6 両面テープを2箇所貼り、のりしろを覆います。はくり紙はまだはがしません。</p> 	<p>7 体を内側にくるむように、台座を折り曲げます。</p> 
<p>8 両面テープのはくり紙をはがし、角をぴったりと合わせて台座を閉じます。</p>  <p>貼り直しができないので慎重に!</p>	<p>9 四隅を持ち、縦につぶすように台座を押さえると、体がとび出します。</p>  <p>触角を曲げないように注意してください。</p>	<p>10 紙の出張った部分を、切り込みで噛ませてロックして、形を整えます。</p> 	<p>11 翅を背中にのりつけて完成です。翅と触角を開いて飾りましょう。もう一度置くこともできます。</p> 

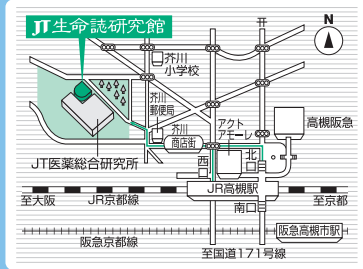
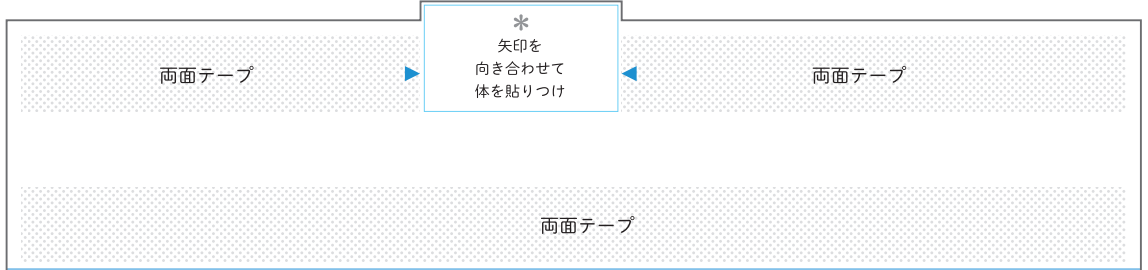
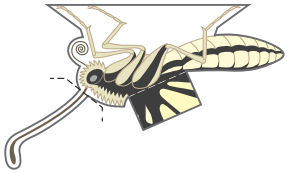
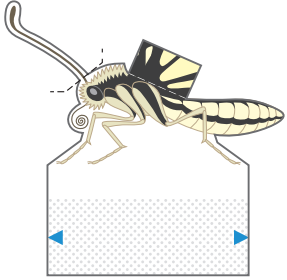
デザイン: 坂啓典(図工室)

翅は周囲の四角い線で切り、まんべんなく接着剤を塗った後、真ん中で折ってぴったり貼り合わせ、本などで押さえて平らにします。接着剤が乾いたら、表面の輪郭に沿ってていねいに切り抜きます。



記号の説明

- 実線 切りとり線
- 点線 山折り線
- 破線 谷折り線
-  切り抜き箇所
-  両面テープでのりづけ
-  接着剤でのりづけ



生命誌研究館

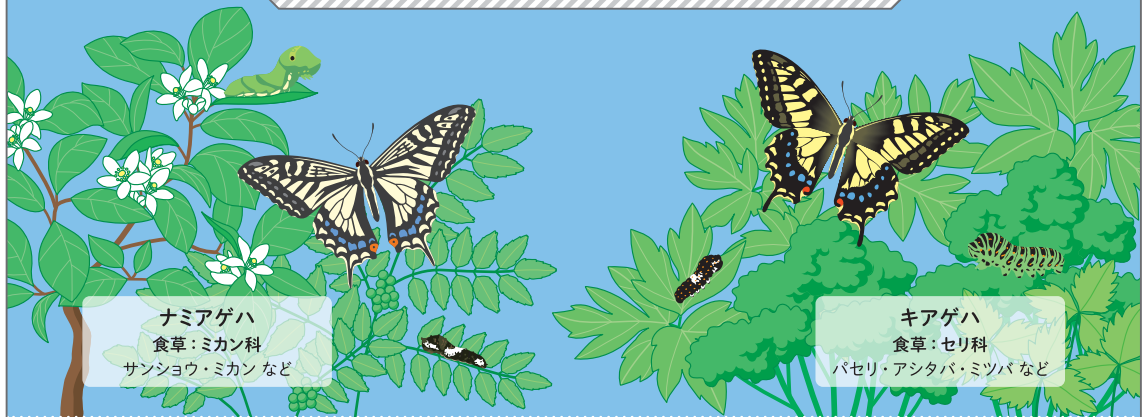
〒569-1125 大阪府高槻市紫町1-1
Tel:072-681-9750(代表) Fax:072-681-97 3
<https://www.brh.co.jp>

開館時間 10:00-16:30 入館無料
休館日 毎週月曜日/年末年始(12月29日~翌年の1月4日)
最新の開館情報はWEBサイトでご確認ください。
交通 JR京都線高槻駅より徒歩10分/阪急京都線高槻市駅より徒歩18分 JRのご利用が便利です。



蝶の間を担ぐ二匹の姿の違いを観察しよう。成虫が羽化する時期は4~10月。吸蜜や産卵の姿をじっくり観察しよう。成虫が羽化する時期は4~10月。吸蜜や産卵の姿をじっくり観察しよう。成虫が羽化する時期は4~10月。吸蜜や産卵の姿をじっくり観察しよう。

アゲハ目蝶類の食草図



ナミアゲハ
食草: ミカン科
サンショウ・ミカン など

キアゲハ
食草: セリ科
バセリ・アシタバ・ミツバ など

幼虫の模様の変化

ナミアゲハとキアゲハは幼虫のうちに模様ががらりと変わります。はじめはどちらも白黒の体色で鳥の糞に擬態していますが、脱皮を繰り返して、幼虫期の最後(5齢)には緑の特徴的な模様に変化します。どちらもとても目立ちそうですが、ナミアゲハは緩やかに反ったミカン科の葉、キアゲハはセリ科の細い葉にと、それぞれの食草にうまく隠れる模様なのです。



ナミアゲハの終齢幼虫



キアゲハの終齢幼虫